

令和7年度 学校評価教職員自己評価

(%)

項目	設問	A	B	C	D	AB評価	評価
		90以上	80以上	70以上	70未満		
組織的な取組	【個人】学校教育目標、目指す学校像・生徒像・教師像などの柱となる方針は、自分の教育観に通じるものであり共感できる。	50	50	0	0	100	A
	【個人】管理職や同僚の支援や協力を感じながら勤務をしている。組織の一員という感覚がある。	75	25	0	0	100	A
	【個人】「生徒のために」はもちろんだが、「同僚や学校全体のために」という意識をもって職務を遂行している。	63	33	4	0	96	A
	様々な教育活動に「学校としての一体感」がある。いわゆる学年セクト(≒学年ごとにバラバラで排他性がある)やスタンドプレーは感じない。	25	58	17	0	83	B
	分掌組織は合理的に編成され、それぞれの分掌が役割を果たしている。	26	65	9	0	91	A
	分掌ごとのデータが蓄積・整理され、次年度への引継ぎができるようになっている。	25	46	29	0	71	C
	縦割り行政的でなく、分掌や役割を超えて協力する雰囲気がある。	29	71	0	0	100	A
	職員会議は、効率的に運営され、共通理解を深めるのに役立っている。	43	57	0	0	100	A
	職員会議の協議事項では、活発な意見交換がされ、よりよい意見が生み出されている。	4	61	35	0	65	D
	組織的な取組	38	52	10	0	90	B
学年学級経営	学年主任を中心に学年チームが一体感をもって取り組み協働体制が敷かれている。	55	36	9	0	91	A
	学級委員や班長などを影で支えながら、リーダーとしての自覚やモチベーションを高めている。	35	61	4	0	96	A
	日直・係・当番・清掃活動などの日常の活動(凡事)は、教師が細かく指示を出さなくても、生徒に任せられる状態に育っている。	17	65	17	0	83	B
	エンカウンターやSST、その他班活動、話し合い活動などを意図的に設定するなどして、潤いのある人間関係づくりをしている。	18	64	18	0	82	B
	机・ロッカーが整理整頓され、教室や廊下の掲示物が充実し(破れやスカスカ感がない)、潤いのある学習環境になっている。	17	52	26	4	70	D
	学年学級経営	28	56	15	1	84	B
	年間行事計画、月行事計画、時程等は、十分に吟味されている。	30	70	0	0	100	A
	企画会・職員会議等で共通理解が十分図られた上で、教育活動が実施されている(無計画で場当たり的な活動・対応でない)。	29	63	8	0	92	A
	【個人】年間指導計画・全体計画は、年度を書き換えただけではなく、吟味をして作成しており、常に進捗を確認し軌道修正を行っている。	26	74	0	0	100	A
	コマごとの実施時数の均衡化に配慮したり、安易な授業カットをしないなど、授業時数の確保が十分なされている。	43	57	0	0	100	A
教育課程	出張等で不在の場合に、授業入れ替えを積極的にに行い自習にしない努力をしている。	65	35	0	0	100	A
	教育課程	39	59	2	0	98	A
	【個人】教師の一方的な説明に終始しない、生徒の活動や対話が中心に据えられた、わかりやすい授業を実施している。	19	62	19	0	81	B
	【個人】全国学テ、見学テ、定期テスト等の結果を分析して、授業改善に役立てている。	19	67	14	0	86	B
	【個人】本時の学びが実感できるような、「めあて」と「まとめ」がつながる授業を展開している。	33	48	19	0	81	B
	【個人】学び合いや個別最適化を意識した展開を取り入れている。	24	67	10	0	90	A
	【個人】相互授業見学強化週間を利用するなどして、同僚の授業を見学した。	10	67	24	0	76	C
	【個人】担当が複数いる教科では、教科部会による進捗の確認、授業づくりやテスト、評価等に関する連携を十分に行った。	38	57	5	0	95	A
	【個人】ICTや視聴覚機器を、授業や宿題、生徒との連絡等に積極的に導入している。	38	43	14	5	81	B
	【個人】ライズ・ライブラリ、学びポケットを授業や家庭学習の課題として活用した	活用した	11	活用していない	10		
学習指導	学習評価は妥当性信頼性のあるものである(多様な材料から多面的多角的に評価し、甘すぎ厳しすぎずよい塩梅となっている)。	19	71	10	0	90	A
	学習指導	26	58	14	1	85	B
	(道徳)「考え議論する道徳の時間」になることを目指した授業を展開している。	24	67	10	0	90	A
	(道徳)ローテーション道徳の目的の一つである「協力して教材研究ができる」「担任が他の先生の道徳を見て学べる」が実現した。	30	50	20	0	80	B
	(総合)総合学習は3年間を見通した系統的なものであり、全体計画や年間計画に基づいて実施されている。	30	45	25	0	75	C
	(総合)総合学習は、主体的な学び、深い探究、発信力の強化などをねらった取り組みがされている。	25	55	20	0	80	B
	(人権教育)人権教育は、3年間を見通した系統的なものであり、各学年で取り組むべきテーマを計画性をもって確実に学習している。	20	60	20	0	80	B
	(人権教育)「いじめや差別は絶対に許さない」という、強い信念をもって、生徒の人権感覚育成に努めている。	62	33	5	0	95	A
	(進路)3年間を見ずえた系統的な進路学習を実施し、進路情報を積極的に発信し、将来への展望を持たせようとしている。	60	40	0	0	100	A
	(特活)生徒会活動は、自治的な風風を育成することを目標に、教師主導にならない工夫がされたり、月例の会合以外にも常時活動が活発に行われている。	33	62	5	0	95	A
道徳・総合・特活	(特活)生徒会本部や専門委員会の組織は適正なものであり、役員数、選出方法等は適当である。	41	59	0	0	100	A
	(特活)現行の学校行事は適切なものであり、生徒の活動状況も良好で、個人や集団の成長に大きな役割を果たしていると感じる。	32	68	0	0	100	A
	道徳・総合・特活	38	53	9	0	91	A

保健・安全	ケガや体調不良、救急要請等の対応や、早退時の保護者連絡などは適切に行われている。	65	35	0	0	100	A
	アレルギーや健康上配慮の必要な生徒に対する共通理解や救急救命法など、職員向けの取組が十分にされている。	52	48	0	0	100	A
	「性に関する指導」やその他保健衛生に係る学習活動では、養教と学年が連携をとり協働的に取り組んでいる。	41	59	0	0	100	A
	交通安全や校内での安全な生活に係る安全指導は十分に行われおり、生徒は校外で安全を意識して生活している。	9	83	9	0	91	A
	避難訓練はマンネリ化・形骸化を防ぐ工夫がされ、実戦的な取組である。	38	57	5	0	95	A
	月に1度の安全点検は確実に実施され、危険箇所の修繕やフィードバックがされている。	9	45	45	0	55	D
	保健・安全	36	54	10	0	90	A
生徒指導・教育相談・生徒の実態	(生徒指導)生徒指導上のルールや各学年の問題行動や配慮生徒等について共通理解が図られている。	39	61	0	0	100	A
	(生徒指導)教職員は常日頃から危機意識を持って、問題行動を未然に防ぐように取り組んでいる。	35	65	0	0	100	A
	(生徒指導)問題行動等があった時には、速やかに管理職や関係職員に報告し、チームで対応している。	59	41	0	0	100	A
	(生徒指導)現行の校則は、家庭の考えや社会情勢等様々な観点からも時代に合った適切なものであり、根拠を求められた時に納得のいく説明ができるも(教育相談)教育相談やいじめアンケート、QUテストの分析結果が学年や相談部会等で共有され、有効活用されている。	30	70	0	0	100	A
	(教育相談)相談室が適切に運用され、職員室(担任等)との連携や協力体制がとれている。	45	50	5	0	95	A
	(教育相談)学習支援室は、相談室を補完するものとして、不登校の抑止や改善などに役立っている。	35	65	0	0	100	A
	(教育相談)無断欠席の場合は副担当が朝の会で必ず家庭へ確認したり、不登校生徒には定期的に連絡を取り合うなど安否確認を確実にしている。	32	59	9	0	91	A
	生徒指導・教育相談	65	30	4	0	96	A
	(生徒の実態)ギリギリ登校がなく、2分前着席ができていないなど、時間を意識した生活ができていない。	43	55	2	0	98	A
	(生徒の実態)授業の号令はしっかりとできていない。	4	48	35	13	52	D
	(生徒の実態)授業の号令はしっかりとできていない。	32	64	5	0	95	A
	(生徒の実態)生徒は元々よく手挨拶を行っている。	4	39	52	4	43	D
	(生徒の実態)朝読書や朝の会では、余計なものが机上に出ていることはなく、静かに本を読んだり、指示や連絡事項を聞くことができていない。	41	50	9	0	91	A
	(生徒の実態)授業や学活では、居眠りや私語、姿勢の乱れがなく、先生の話は余計なことをせず黙って目を見て聞くなどの規律が徹底されている。	5	86	5	5	91	A
	(生徒の実態)給食の45分着席・準備開始ができていない。	27	41	23	9	68	D
	(生徒の実態)給食に関する様々なルールが守られ、落ち着いた中にも楽しい給食の時間となっている。	45	50	5	0	95	A
	(生徒の実態)清掃の「はじめの会」開始時刻(38分)は守られている。	41	55	5	0	95	A
	(生徒の実態)ほぼ無言清掃であり、膝をついて丁寧な水拭きをするなど、意欲的な取組である(「うちの生徒はほんとによくやっているな」と感心できるような	14	36	41	9	50	D
	(生徒の実態)生徒は服装や持ち物などの決まりを守って生活している。	27	68	5	0	95	A
	(生徒の実態)生徒は家庭学習によく取り組んでいる。	5	45	36	14	50	D
	(生徒の実態)真面目で素直な生徒が多いと感じる。	43	52	4	0	96	A
	生徒の実態	24	53	19	4	77	C
服務規律	勤務時間中は職務に専念するとともに、体罰や生徒との不適切な関係等の非違行為は見られない。	79	21	0	0	100	A
	体罰にいたらなくても、一方的な激しい叱責や人格を傷つけるような発言などの、不適切な指導はない。	63	38	0	0	100	A
	教室でのスマホ使用、生徒保護者とのSNS、個人情報の無断持ち出しなど、禁止事項について遵守している。	70	22	9	0	91	A
	服装、挨拶、態度、保護者対応など、社会人としてふさわしい接遇スキルが身につけている。	42	58	0	0	100	A
	管理職や同僚からの威圧的な言動等はなく、風通しの良い職場環境である。	75	25	0	0	100	A
	【個人】毎朝の出勤簿捺印、部活動実績簿など提出物の期限遵守や文書管理は徹底されている。	63	33	4	0	96	A
	会計事故防止のために、「集金は校内に置かない」「会計3点セットの完備」「担当者以外の目による監査」が適切に行われている。	39	48	13	0	87	B
	【個人】部費を集めている場合は会計報告を保護者に対して行っている。	61	39	0	0	100	A
	服務規律	61	35	3	0	97	A
施設・設備	事務用品はわかりやすく整理されており、気持ちよく使える工夫がされている。	79	21	0	0	100	A
	使用した会議室、空き教室、事務用品等は丁寧に使い、原状復帰がされている。	54	42	0	4	96	A
	職員室、印刷室、更衣室、トイレ等の共用スペースは、他の人が不快な思いをしないよう使われている。	63	29	8	0	92	A
	教科や分掌で購入した備品や消耗品は、適正に管理されている。	75	25	0	0	100	A
	本校の施設・設備・備品は整っていると感じる。	33	50	13	4	83	B
連携	施設・設備	61	33	4	2	94	A
	(家庭地域)教職員は、PTA活動、SSVC、地域の活動に協力している。	13	54	29	4	67	D
	(家庭地域)保護者は、学校の教育活動に理解を示し協力的である。	21	75	4	0	96	A
	(小中連携)校区の小学校との連携は十分にできており、一貫性のある教育となっている。	14	68	18	0	82	B
連携		16	66	17	1	81	B
合計		36	52	11	1	88	B